

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市歴史民俗資料館	
2 指定管理者	公益財団法人仙台市市民文化事業団	
3 指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和4年度15,198人(前年度比 164.5%) 令和3年度 9,238人(前年度比 95.5%) 令和2年度 9,678人	
	《事業》 市指定文化財である歩兵第四連隊兵舎の維持管理、江戸時代から現代の歴史・民俗資料の収集・整理及び常設展示、年3回の企画展・特別展と年4回の季節展示、調査研究事業、普及啓発事業	
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 66,326千円 (68,132千円) ・ その他市が負担した費用 13,875千円 (16,793千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 1,043千円 (646千円) ・ その他収入 249千円 (202千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 *特別展、企画展ごとにアンケートを実施 *利用者アンケートを令和4年12月に実施	

二 管理運営に係る評価 (モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針が確立しており、職員に周知の上、業務が遂行されている。また、資料の収集・展示、解説・講座の開催、学校や地域団体との連携等により、本市の歴史文化の保護・向上に資するといった目的を達成している。	27/27
II 施設の運営管理体制	職員の勤務実績、配置状況は適切であり、事業計画書に基づいて開館し、指定管理料も適正に執行されている。個人情報保護や事故防止対策、事故対応・災害対応については研修等を通じて職員に周知され、体制も整えられている。防災訓練は地域住民の参加を得られるよう、関係性が構築されている。	24/24
III 施設・設備の維持管理	建物が仙台市指定有形文化財「旧第四連隊兵舎」であることを踏まえ、所管課・関係課と適時調整しながら施設の維持や備品管理に取り組むとともに、内部や外周の美化に努める等、市民等が安心・安全に利用できるよう、適切に管理されている。また、紙・ファイルのリサイクルや節電・節水など、仙台市環境行動計画が実践されている。	24/24
IV サービスの質の向上	職員の接客マナーや受付・案内は適切であり、標準的な業務はマニュアル化されている。職員の教育・研修も適宜行われ、利用者アンケートの結果等は定例のミーティングを通じて共有し、改善を図っている。パンフレット・チラシ以外にTwitterやYouTubeを活用するなど、情報発信にも積極的に取り組んでいる。	28/28
V 施設固有の基準	協定書や仕様書に基づき施設を適切に管理するとともに、NPOと連携を図り、近隣施設や町内会等と良好な関係を保ちながら、事業計画書に基づき事業を実施している。資料の収集・整理・保管については、収蔵室の整理方針を引き続き検討する等の取り組みがなされた。普及啓発事業については、新型コロナウイルス感染症対策として規模を縮小せざるを得なかった部分があったものの、開催された展示やイベントは市民から好評であり、さらなる充実が期待される。	12/12

三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台市市民文化事業団）による自己評価》
<p>施設の管理運営では、建物の外壁塗装工事により6月に4日間を臨時休館としたほかは通常開館となった。新型コロナウイルス感染症対策を講じながらの運営ではあったが、徐々にコロナ禍以前の状況に近づき、入館者数は15,198人（前年度比約165%）となった。学校見学については仙台市内の小学校60校3,942人の児童が授業の一環として団体で来館し、石臼挽き体験や行灯の明かりを見る体験学習は510回実施している、例年同様に学校関係の利用は順調に継続している。また、YouTubeチャンネルでは企画展の内容を個別に紹介する番組を公開し、さらなる情報提供に努めた。</p> <p>資料の収集・整理・保管に関わる事業では資料の寄贈が45件6,866点にのぼり、資料の収蔵点数は97,000点を超えた。調査研究事業では昭和初期の国策として取り組まれた東北地方の振興政策に関連した雑誌のグラビアページを収録した資料集を発行し、一年を通じて行っている学芸員による調査活動や研究成果をまとめた調査報告書を刊行した。展示事業ではすべてオリジナルな企画展と特別展を計3回開催し、展示解説を含めて関連イベントを合計23回行い、収蔵資料の紹介と研究成果をわかりやすく紹介した。特に、学校等の夏期休暇期間に開催した特別展「仙台の夏のくらし・秋のくらし」において、「昔のくらし」の様子を子どもたちにもわかりやすく展示し、展示図録も1冊刊行した。</p> <p>仙台の町の歴史と人々のくらしを後世に伝える施設として、今後もその役割と使命を自覚し、仙台市の文化行政を担う拠点の一つとして、市民の皆さまの付託に応えられるよう職員一体となって取り組んでいきたい。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>施設の管理運営体制、建物・設備の維持管理、公共施設としてのサービスの提供は適切である。設置目的の達成に向け、本市の近現代史や民俗を扱った特別展・常設展をはじめ、多様な事業が展開されている。新型コロナウイルス感染症への規制が徐々に緩和されてきたこともあり、前年度まで減少傾向にあった利用者数は持ち直してきている。</p> <p>普及啓発事業については、展示解説や講座が意欲的に実施され、学校利用事業も昨年度同様に順調であり、これまでの学校団体に対する取り組みの成果が表れていると理解できる。市民協働の取り組みや地域社会との関係構築も着実に行われている。また、YouTubeを企画展の広報に活用するなど、Twitterの利活用も含め、情報発信の取り組みも積極的になされ評価できる内容である。</p> <p>一方で、資料の収集・整理・保管の合理的かつ効率的なあり方や、展示テーマの新たな切り口の提示等、より意欲的な取り組みも望まれる。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：教育局生涯学習部文化財課